

個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実

「令和の日本型学校教育」

学校における働き方改革の推進

- ・勤務時間管理の徹底
- ・業務の明確化・適正化
- ・教職員定数の改善充実
- ・専門スタッフや外部人材の配置拡充など

真に必要な教育活動の実施

新学習指導要領の全面实施

- ・社会に開かれた教育課程
- ・カリキュラム・マネジメント
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

資質・能力の育成

GIGAスクール構想

- ・高速大容量のネットワーク環境の整備
- ・1人1台端末環境の整備
- ＊家庭への持ち帰りを含めて活用できる環境の整備

教育の質の向上

「正解主義」や「同調圧力」への
偏りからの脱却



一人一人の子どもを主語にする
学校教育の実現

従来の「日本型学校教育」のよさを受け継ぎ、さらに発展させる

新しい時代の学校教育（令和の日本型学校教育）の実現

個別最適な学びと協働的な学びの実現

全ての子どもたちの可能性を引き出す



子どもの学び

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

個別最適な学び

協働的な学び

主体的・対話的で深い学び

ICTの活用



教職員の姿

- 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- 子ども一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- 子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

教師の資質・能力の向上

学校における働き方改革

家庭や地域社会との連携



子どもの学びや
教職員を支える環境

- ICT環境の整備により、指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

ICT環境の整備

学校施設の整備

少人数指導によるきめ細かな指導体制

「子どもの学び」の姿



個別最適な学び
協働的な学び

一体的に充実



主体的・対話的で
深い学び

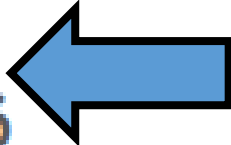
授業外の学習改善

授業改善

＼子供の資質・能力の育成／

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて

改革に向けた6つの方向性

- (1) 学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する
 - (2) 連携・分担による学校マネジメントを実現する
 - (3) これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する
 - (4) 履修主義・修得主義等を適切に組み合わせる
 - (5) 感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する
 - (6) 社会構造の変化の中で、持続的で魅力ある学校教育を実現する
- 

これまでにない量・質のデータを
収集・蓄積・分析・活用

ICT を活用

時間的・空間的制約を超えて
音声・画像・データ等を蓄積・送受信

個々の特性等に合った多様な方法で
児童生徒が学習を進めることができる可能性

今までにない方法で、多様な人たちと
協働しながら学習を行うことができる可能性

個別最適な学び

協働的な学び

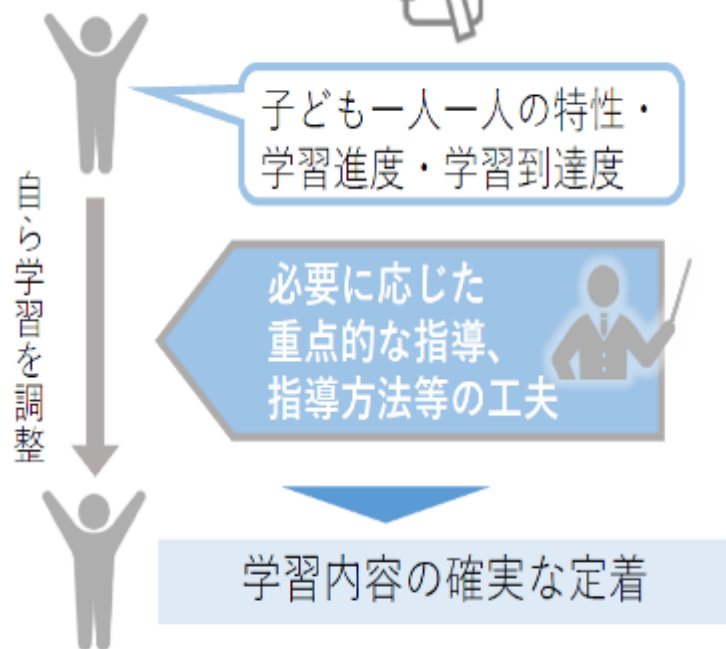
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

未来の社会を見据え、児童生徒の資質・能力を育成

個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

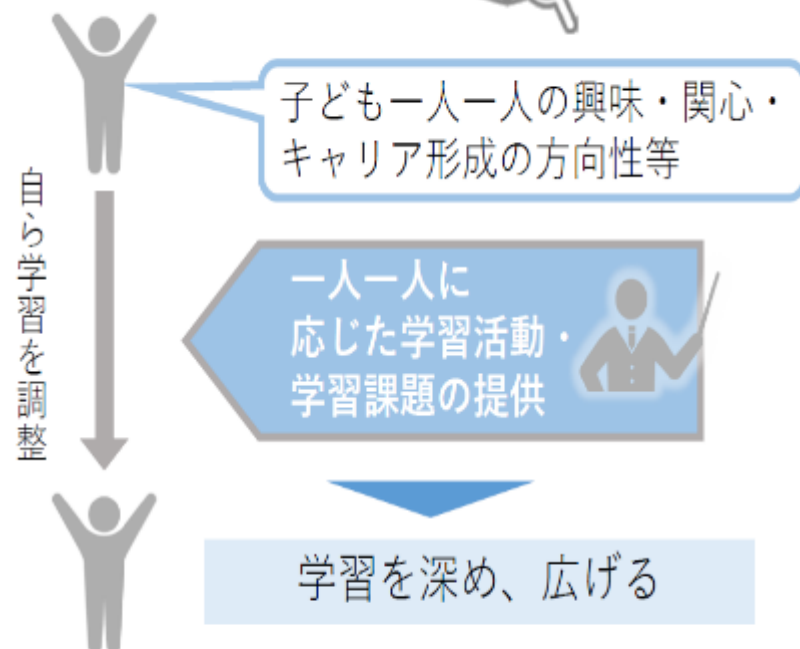
子どもが自己調整しながら学習を進めていく

指導の個別化



※ 一定の目標を全ての子どもが達成することを
目指し、異なる方法等で学習を進める

学習の個性化



※ 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

指導の個別化



- ICT活用により得られるデータを活用し、きめ細かく学習の状況を把握・分析
- 個々の児童生徒に合った多様な方法で学習
- 学習履歴、生活・健康面の記録等、様々なデータを可視化し、学習方法等を提案するツールの活用



確実な資質・能力の育成

- ※ 児童生徒が自らの状態を把握し、自らに合った学習の進め方を考えることができるよう、教師による指導を工夫していくことが重要

学習の個性化



- 情報の探索
- データの処理や視覚化
- レポートの作成
- 情報発信



学びの質の高まり、深い学びの実現

- ※ 児童生徒がこれまでの経験を振り返ったり、これからのキャリアを見通したりしながら、自ら適切に学習課題を設定し、取り組んでいけるよう、教師による指導を工夫していくことが重要

協働的な学び

探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働する



一人一人の
よい点・可能性

多様な
他者と協働



クラスメイト
異学年・他校の子ども
地域の方々
専門家



- ICTの活用により、児童生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動
- 多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動
- 遠隔地の専門家とつないだ授業
- 他の学校・地域や海外との交流

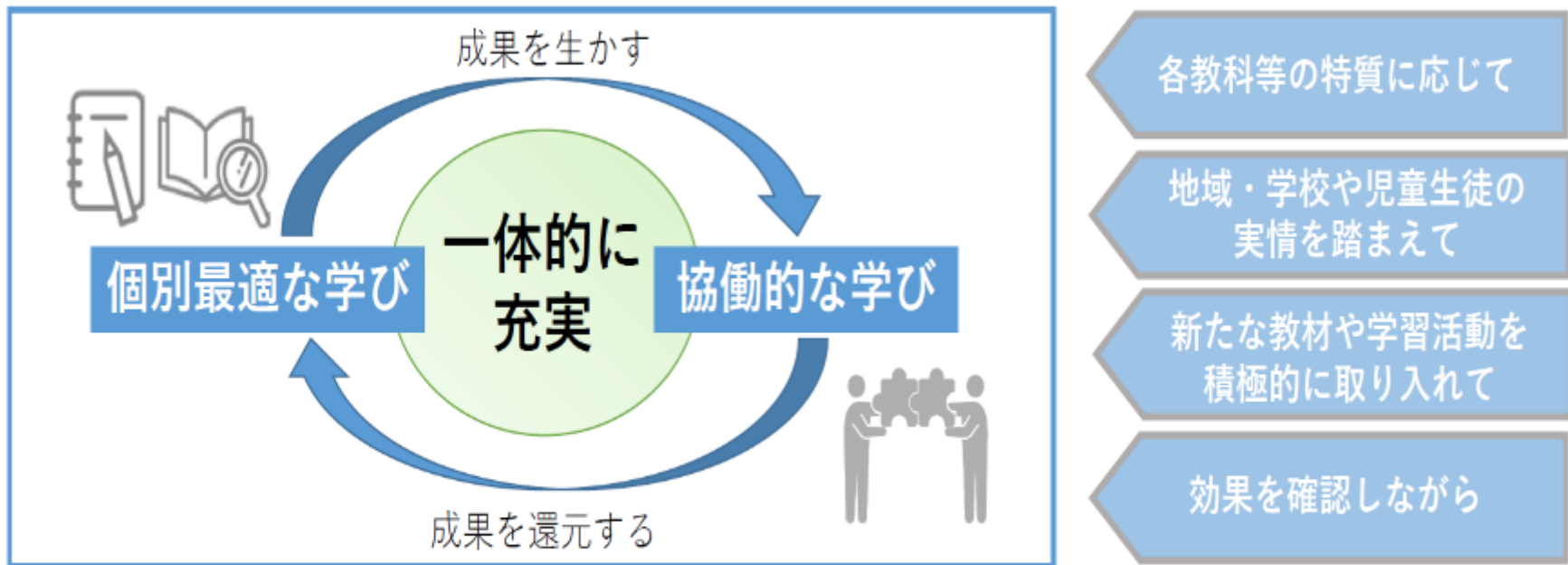
※ 同時に、同じ空間で時間を共にすることで、お互いの感性や考え方等に触れ刺激し合うことや、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことが重要



異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

実際には、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わさって実現されていくことが多い



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

持続可能な社会の創り手

参考資料

【小学校】

令和5年度
小学校教育課程改善の手引

学習指導要領の
着実な実施に向けて
～教育課程の再点検～

北海道教育庁
学校教育局義務教育課



【中学校】

令和5年度
中学校教育課程改善の手引

学習指導要領の
着実な実施に向けて
～教育課程の再点検～

北海道教育庁
学校教育局義務教育課

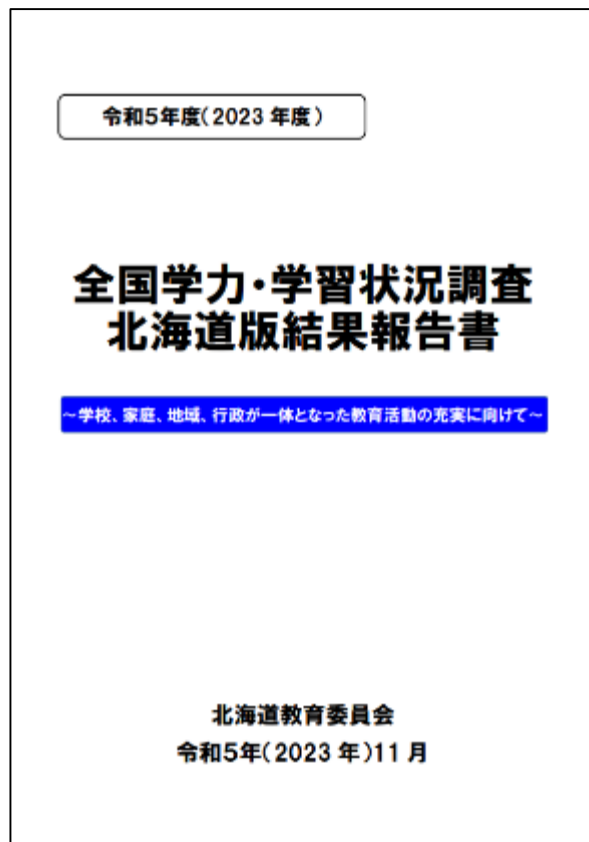
【授業改善推進チーム】

○授業改善推進チーム
実践資料



参考資料

【北海道版結果報告書】



【入学者選抜状況報告書】



【家庭学習の手引】



参考資料

【高等学校教育課程編成・実施の手引】

○高等学校教育課程
編成・実施の手引



【教職員研修動画】

○教職員研修動画
「ツールキット」



参考資料

【StuDX Style】



【ICT活用ポータルサイト】

